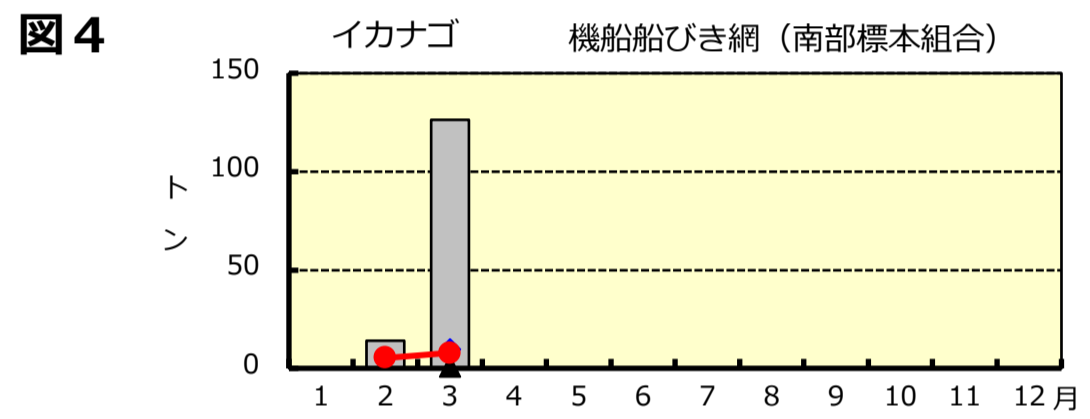
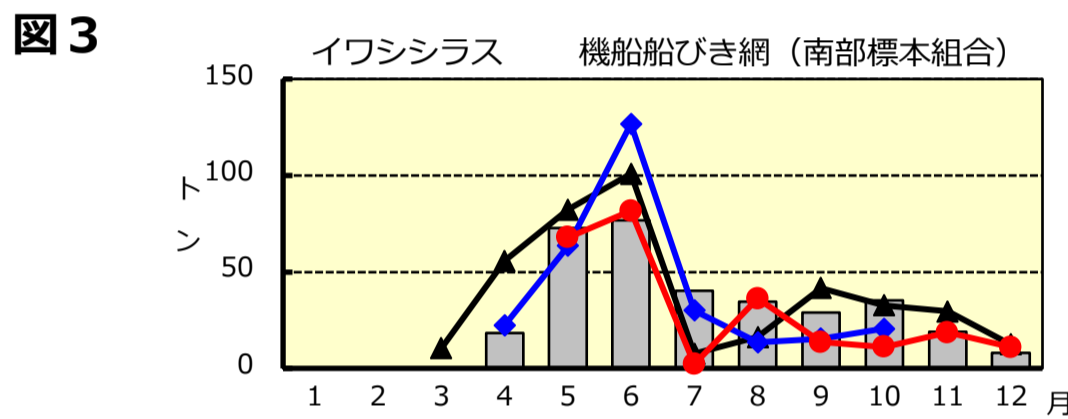
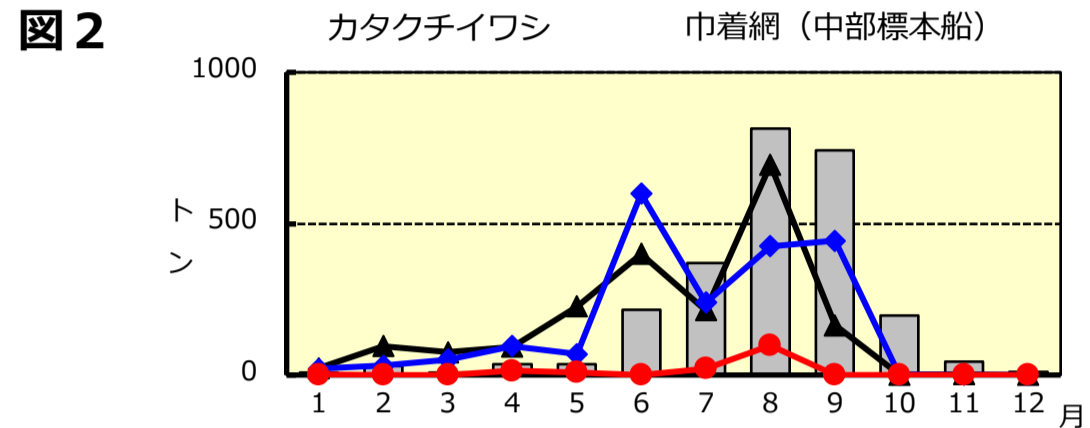
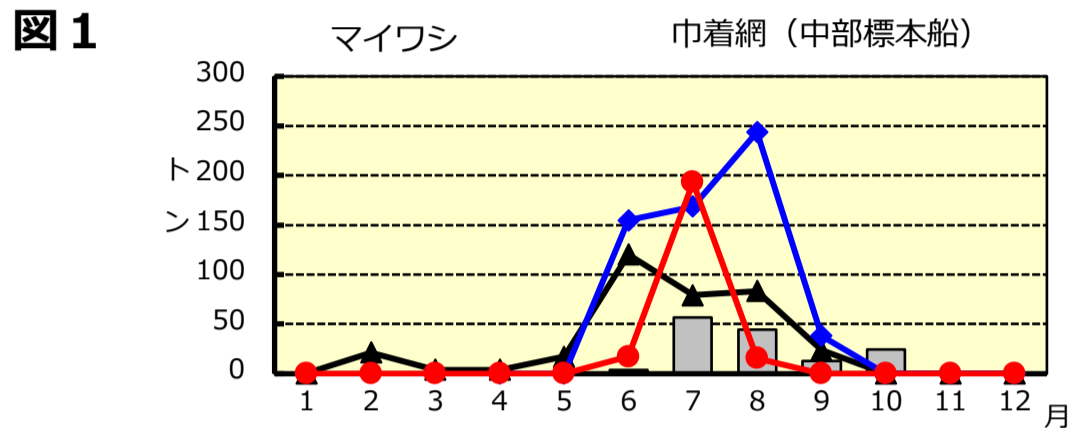


● 巾着網（中部標本船）

- マイワシは、7月に平年値を大きく上回る漁獲があった（図1）
- カタクチイワシは、通年平年値を大きく下回り、低調な漁獲量であった（図2）

● 機船船びき網（南部標本組合）

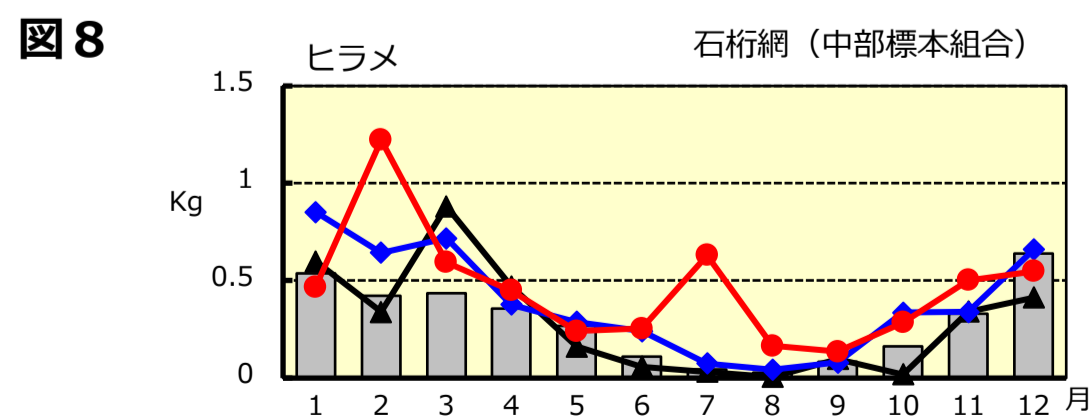
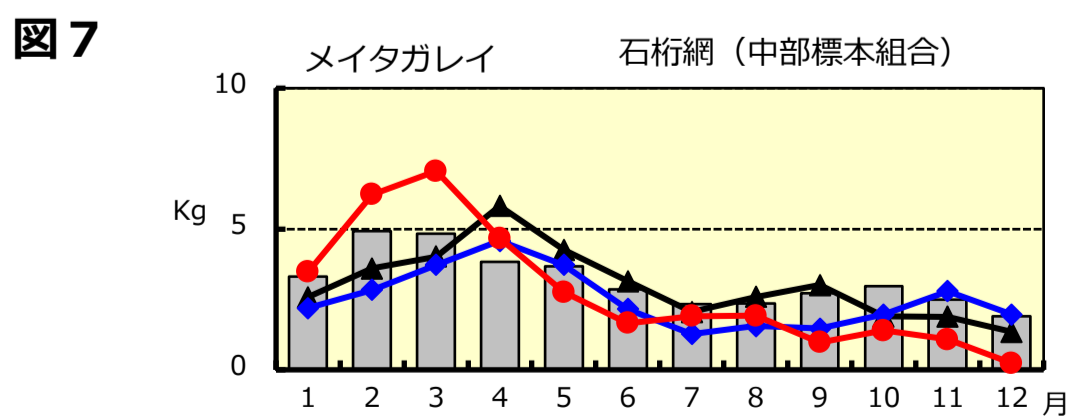
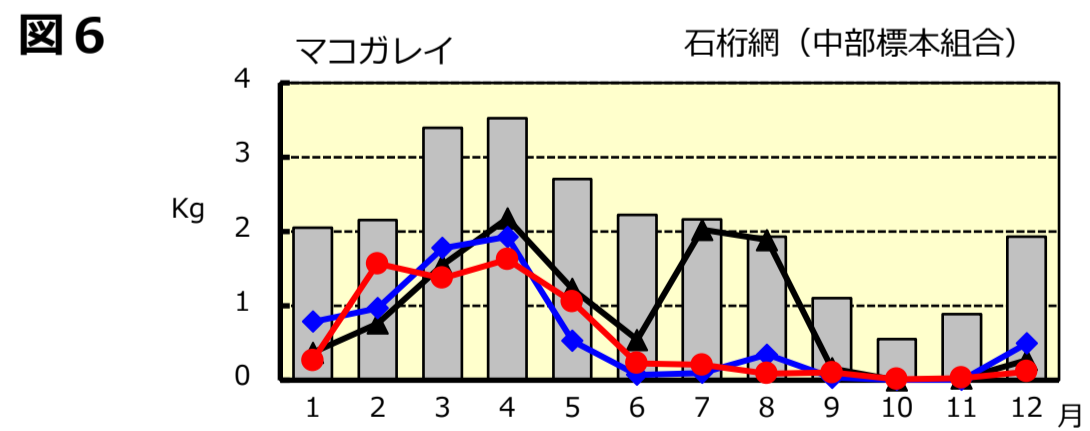
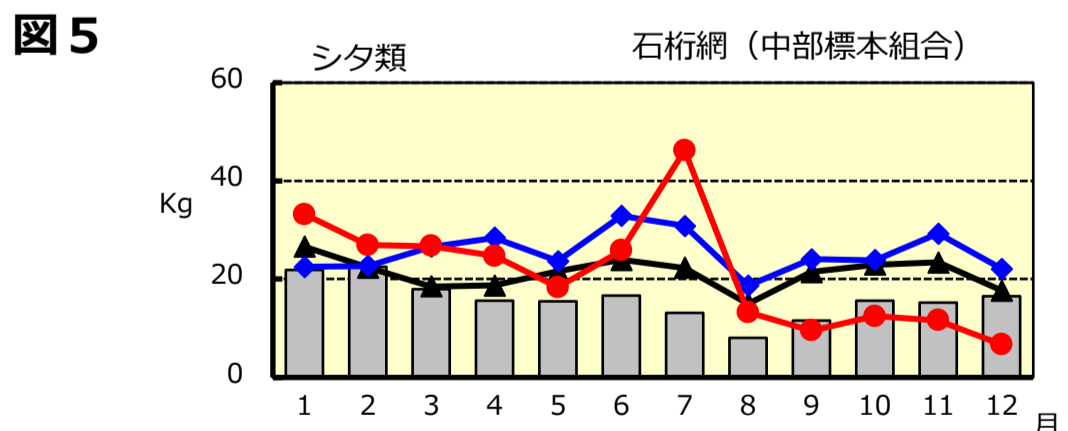
- イワシシラスは、7月に平年値を大きく下回ったが、他の月は平年並みか平年をやや下回った（図3）
- イカナゴは、平年を大きく下回る漁獲量であった（図4）



● 小型底びき網

石桁網（中部標本組合）

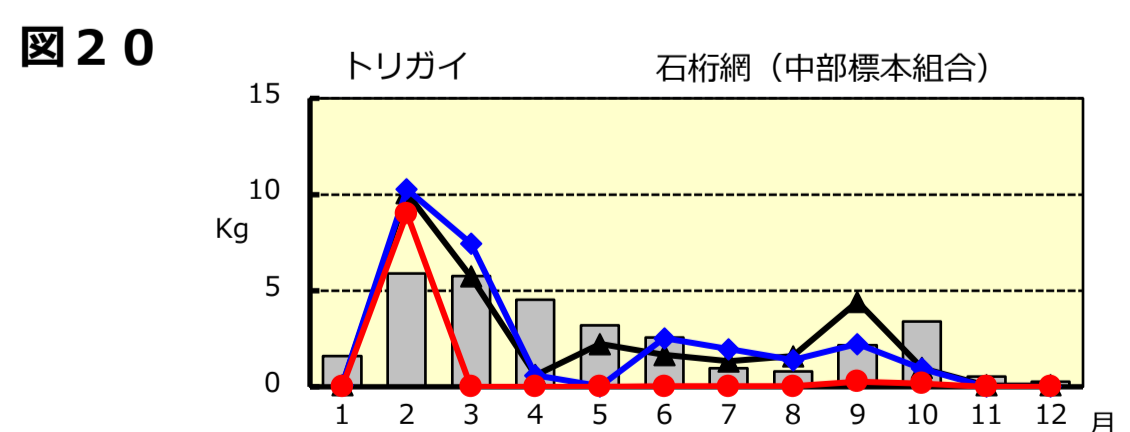
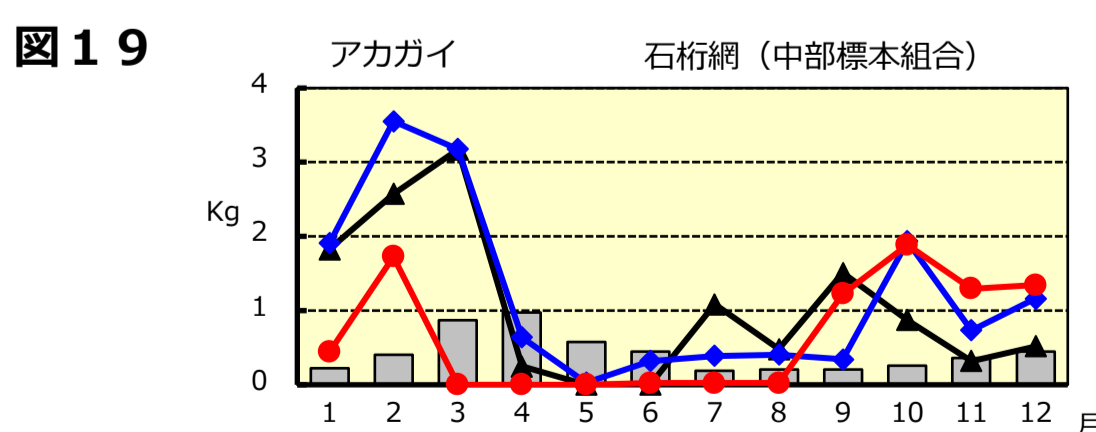
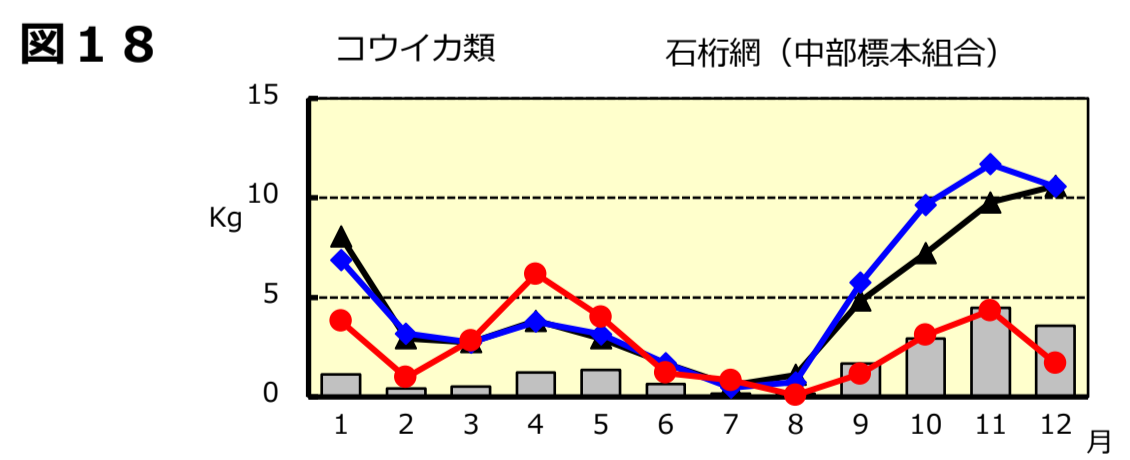
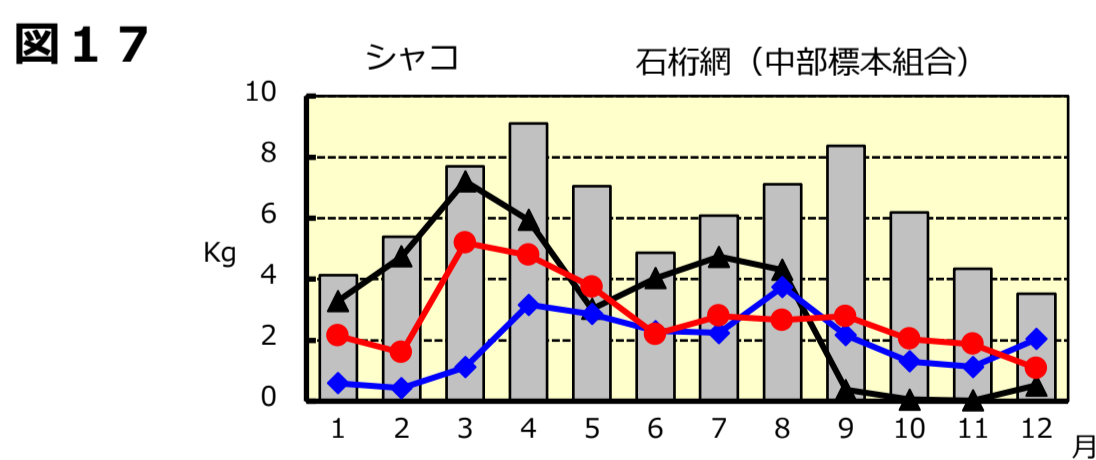
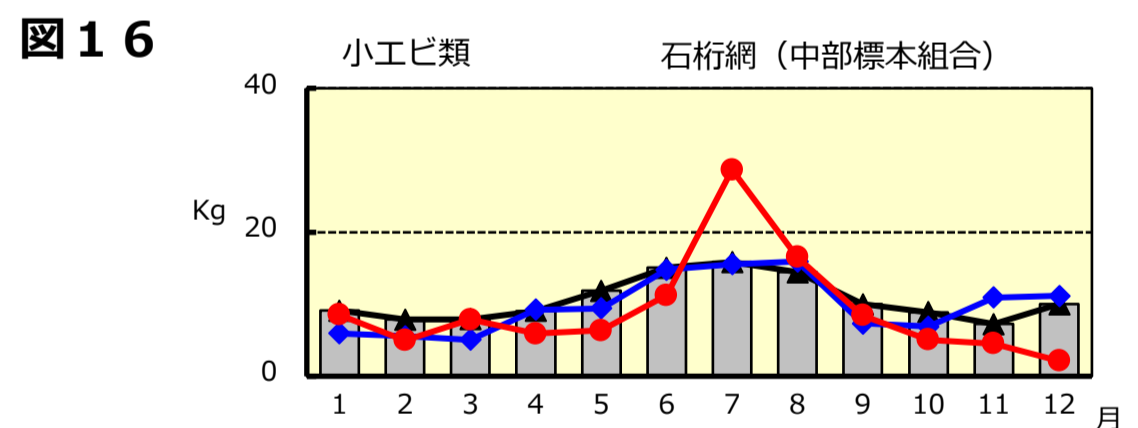
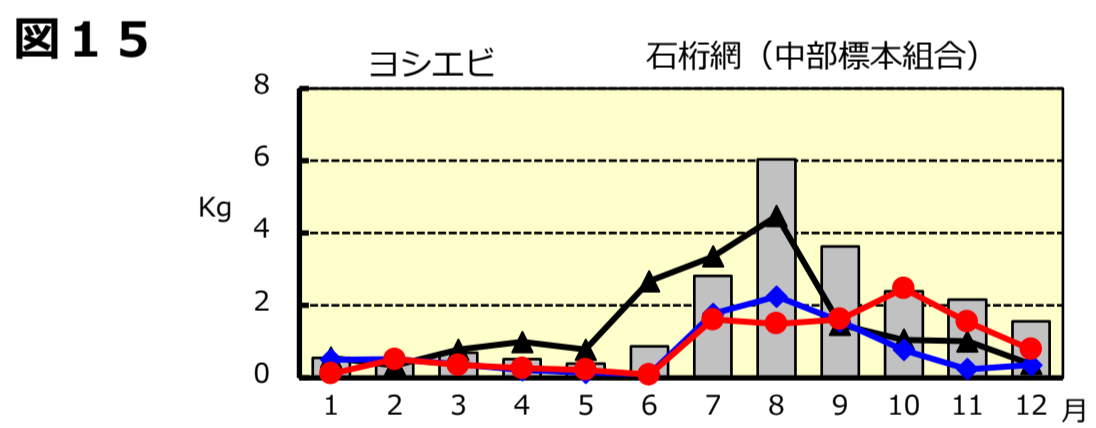
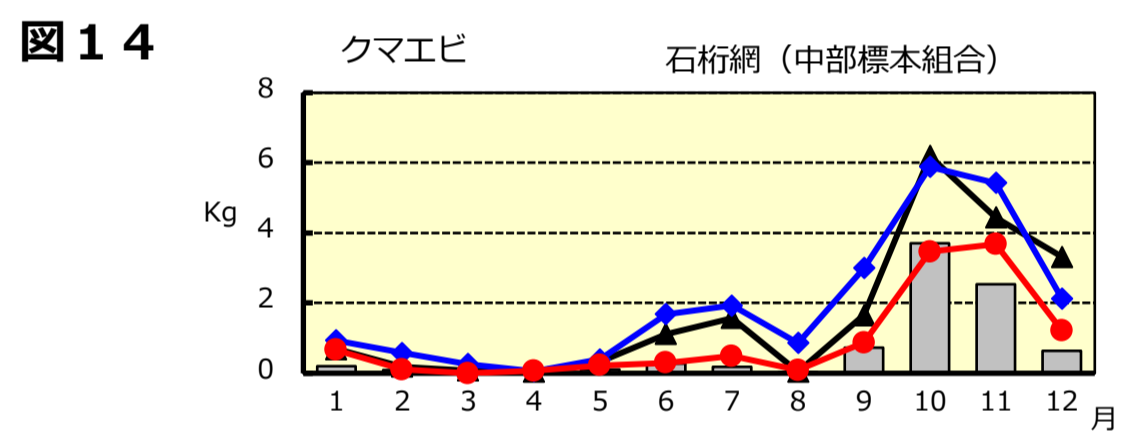
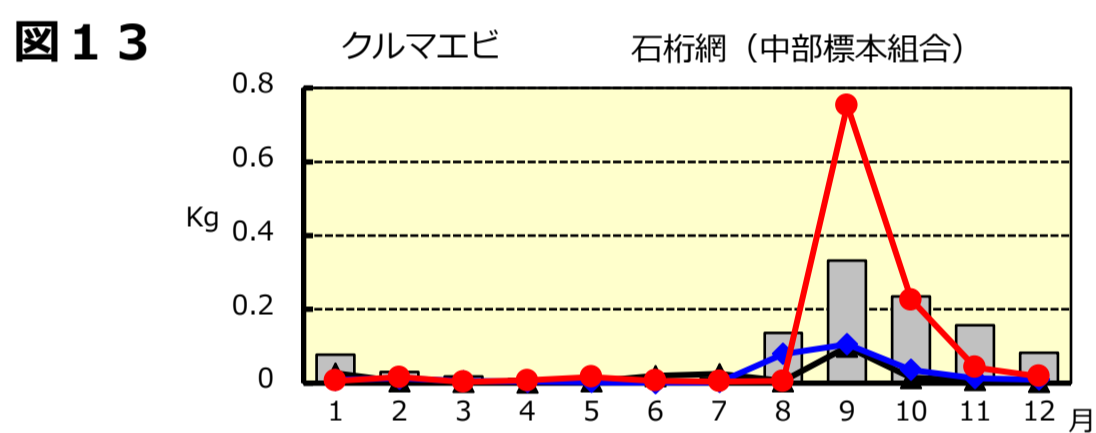
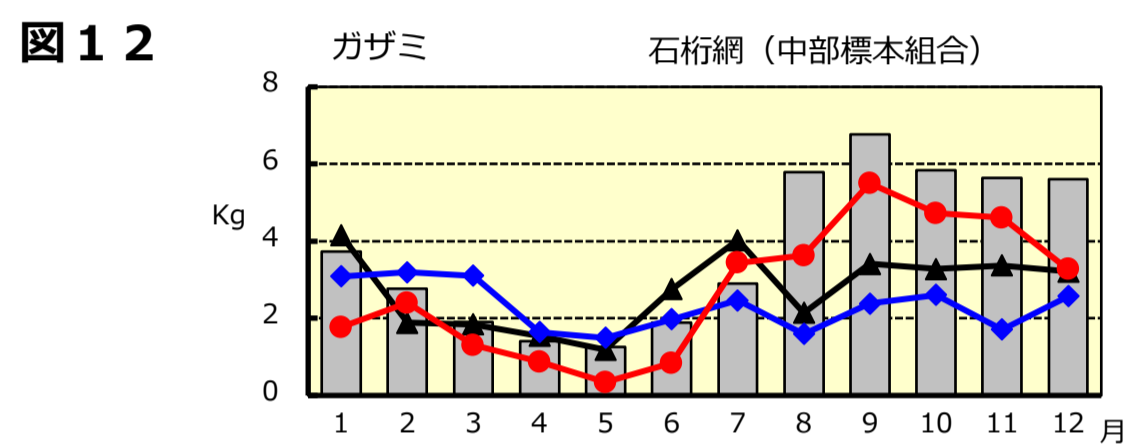
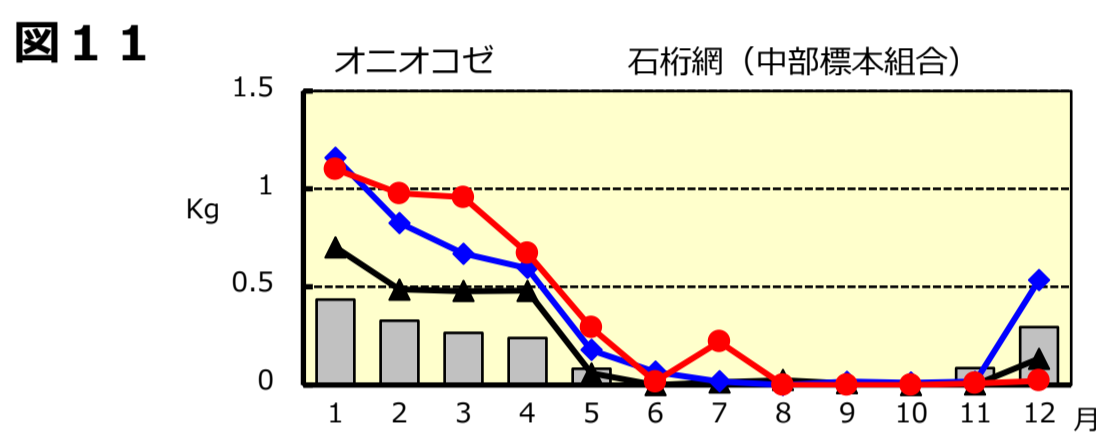
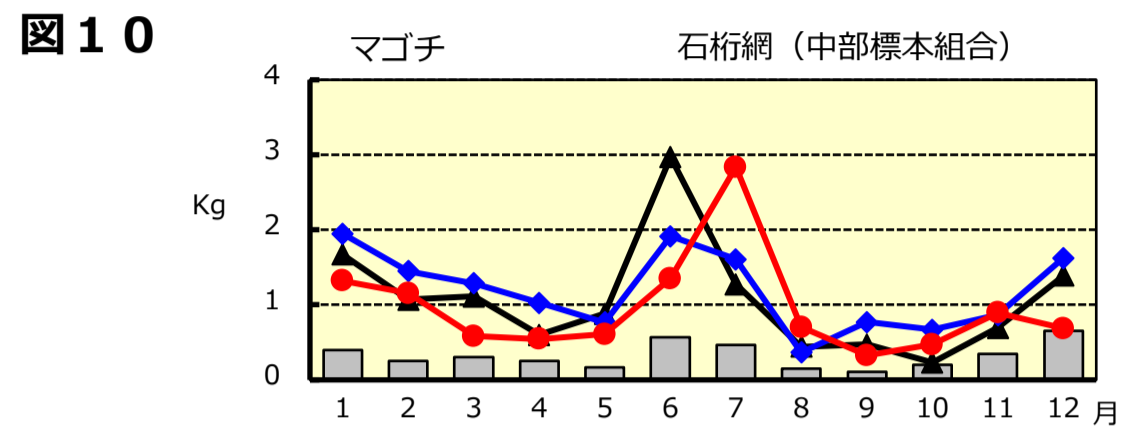
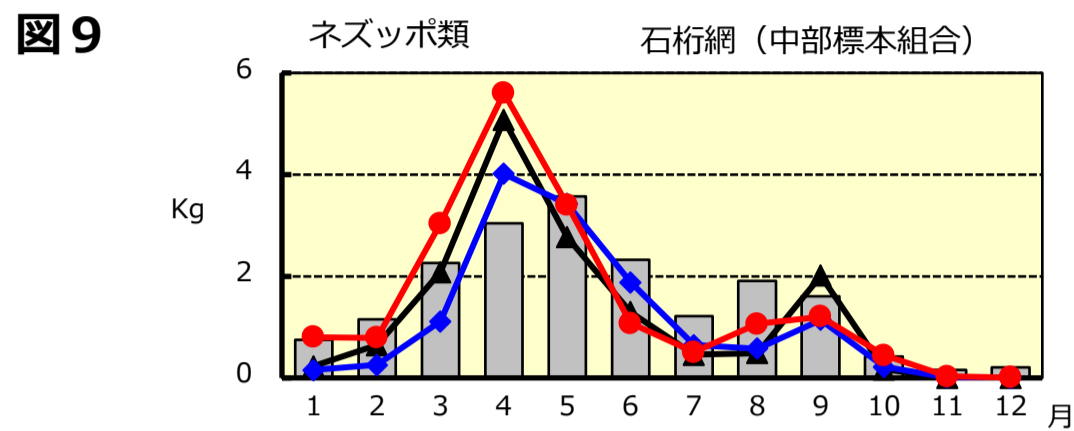
- シタ類は、7月に平年値を大きく上回る漁獲があった（図5）
- マコガレイは、通年低調な漁獲量であった（図6）
- メイタガレイは、2月から4月は平年値を上回ったが、他の月は平年値を下回る漁獲量であった（図7）
- ヒラメは、1、5、9、12月は平年並みか平年値を下回る漁獲量であったが、他の月は平年を上回る漁獲があった
- ネズッポ類（がっちょ）は、3月から4月に平年値を上回る漁獲があった（図9）
- マゴチは、通年平年値を上回る漁獲量であった（図10）
- オニオコゼは、1月から5月と7月に平年値を上回る漁獲があった（図11）
- ガザミ（わたりがに）は、7月を除き平年値を下回る漁獲量であった（図12）
- クルマエビは、9月に平年値を上回る漁獲があった（図13）



1日1隻当たりの漁獲量 (kg) を示す 注: 図1、図2、図3、図4は月漁獲量 (トン) を示す

■ 平年値    ● 平成30年    ◆ 平成29年    ▲ 平成28年

- クマエビ（あしあか）は、通年平年並か平年値を上回る漁獲があった（図14）
- ヨシエビ（しらさ）は、通年平年並か平年値を下回る漁獲量であった（図15）
- 小エビ類は、7月に平年値を上回る漁獲があった（図16）
- シャコは、通年平年値を下回る漁獲量であった（図17）
- コウイカ類は、1月から7月にかけて平年値を上回る漁獲があった（図18）
- アカガイは、2月中旬から9月中旬まで貝毒による出荷規制が続いたが、それ以降は平年値を上回る漁獲が続いた
- トリガイは、2月に平年値を上回る漁獲があったが、2月中旬に貝毒が検出され、9月中旬まで出荷規制が続いた



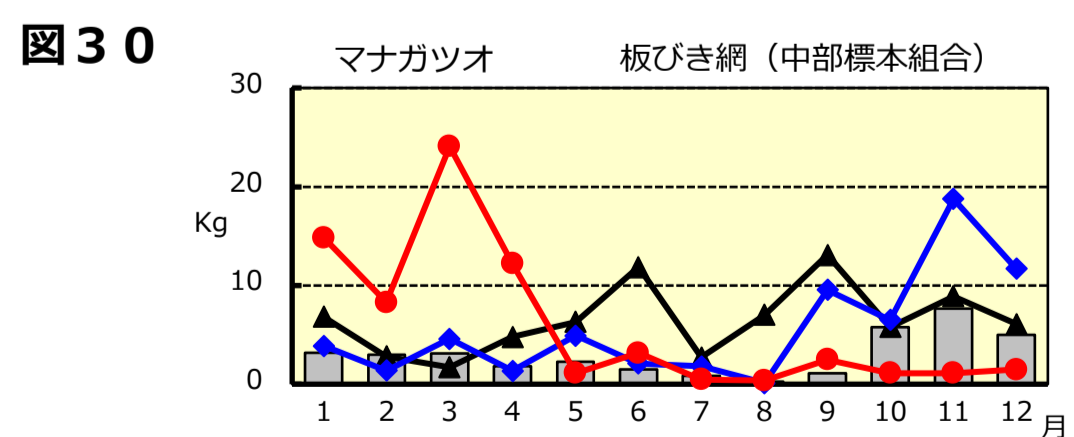
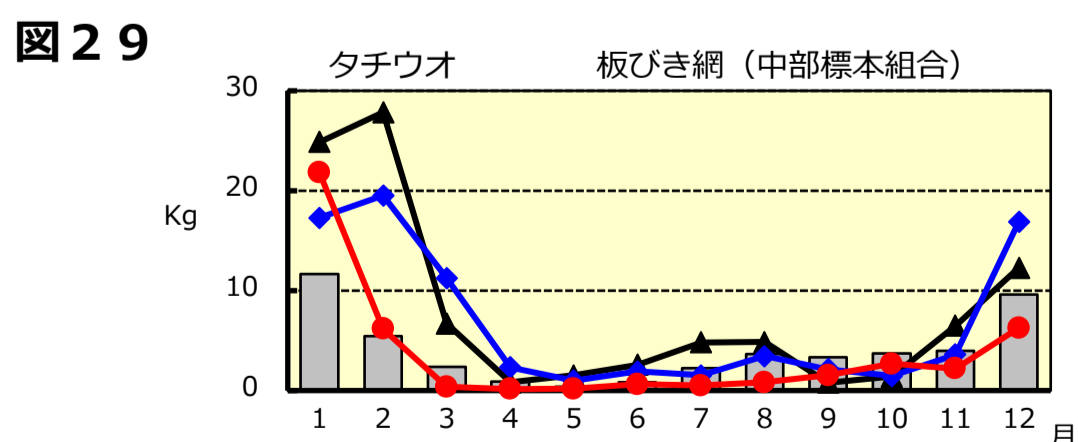
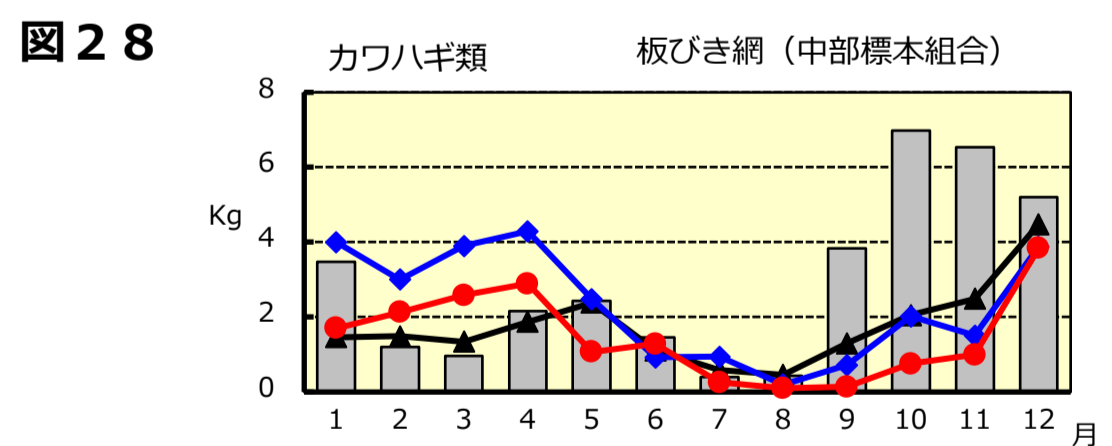
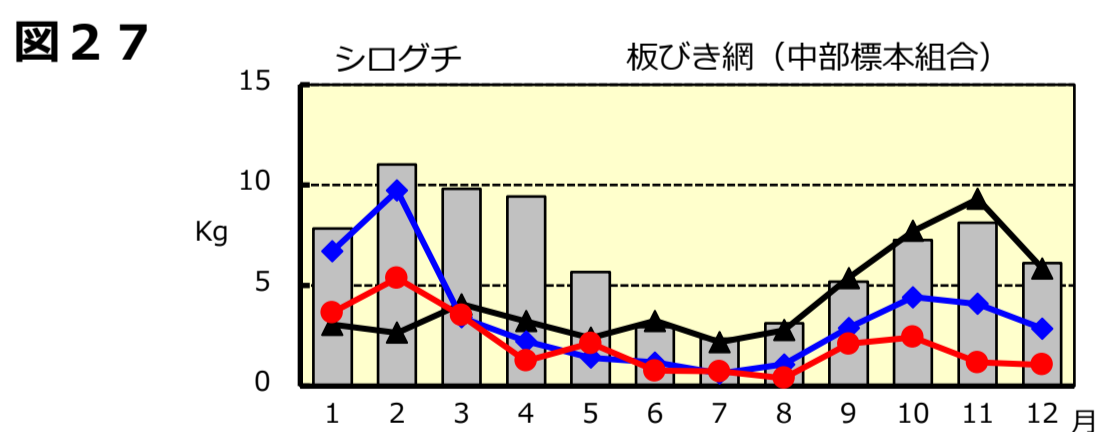
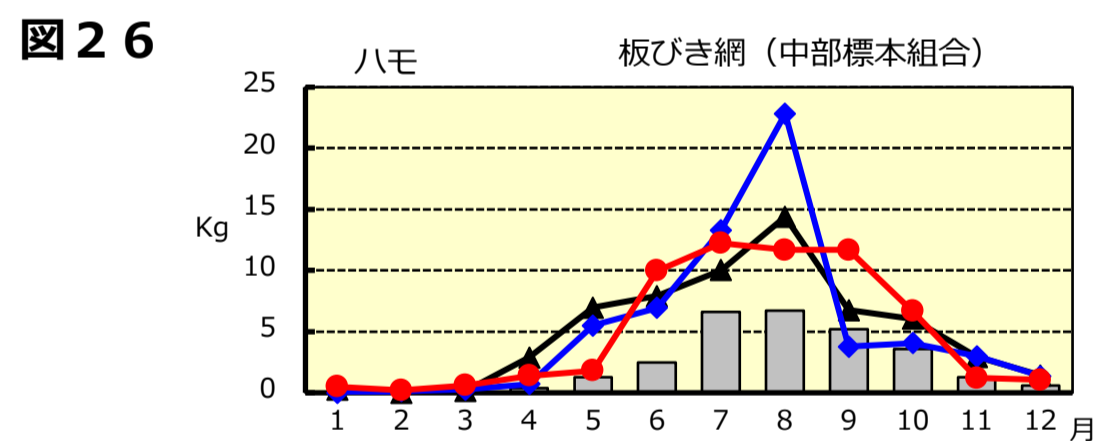
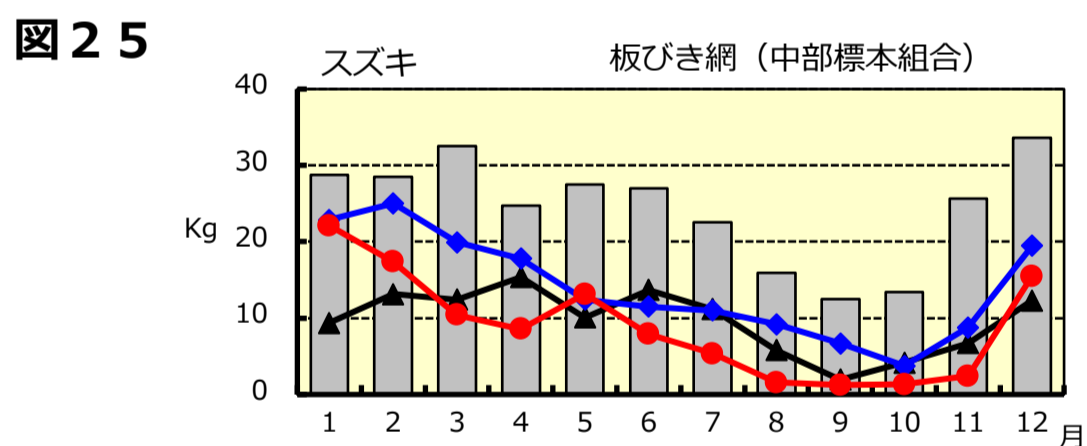
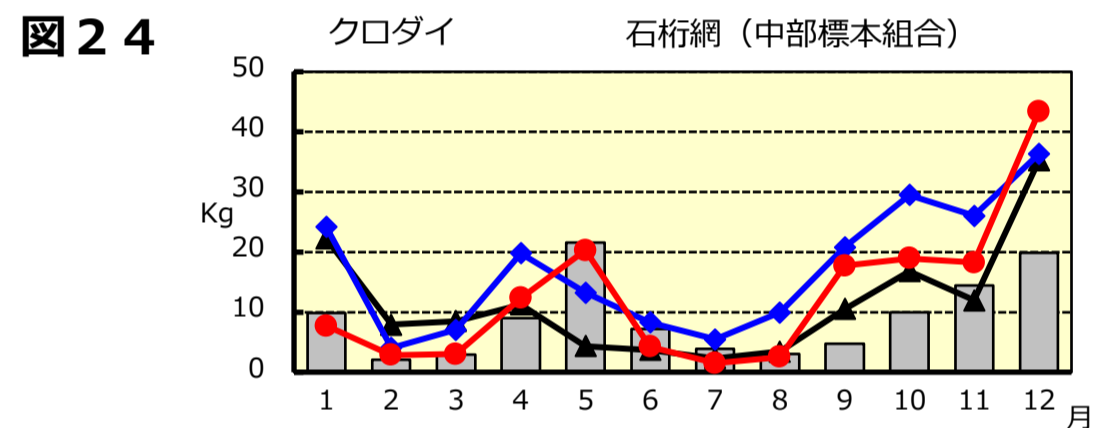
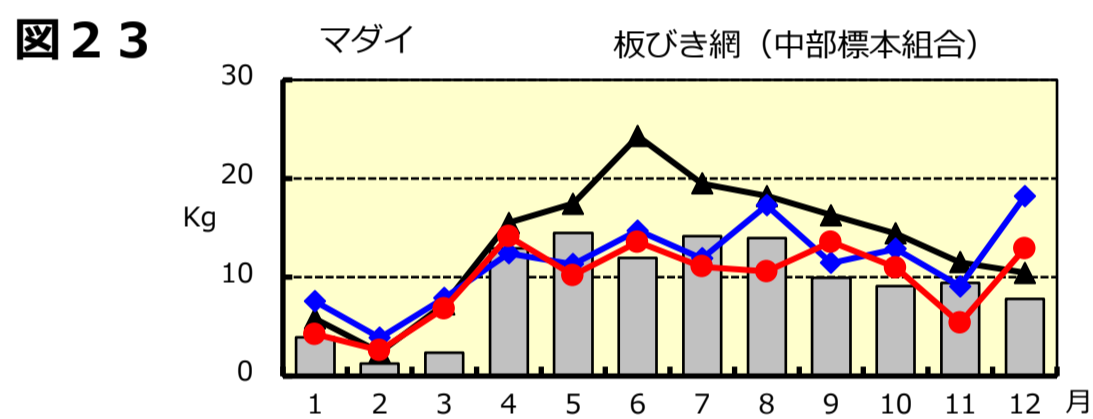
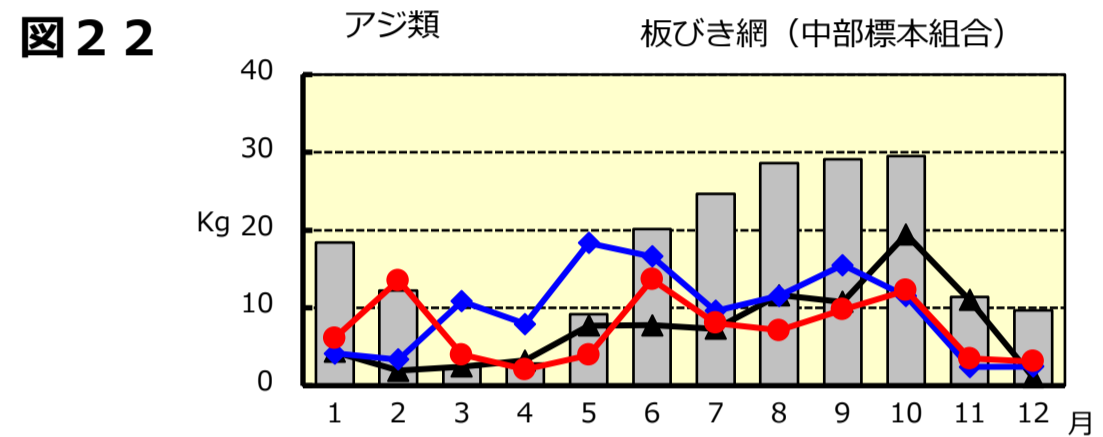
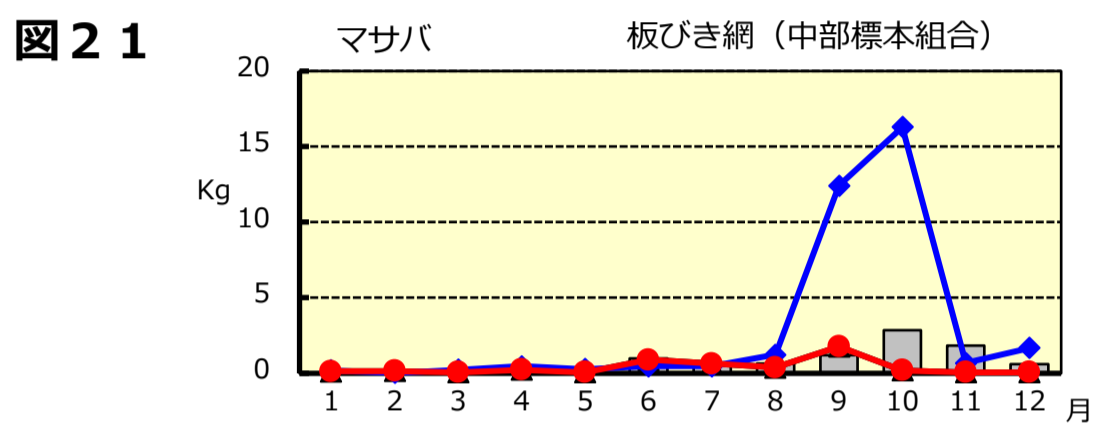
1日1隻当たりの漁獲量 (kg) を示す

■ 平年値    ● 平成30年    ◆ 平成29年    ▲ 平成28年

● 小型底びき網

板びき網（中部標本組合）

- マサバは、9月を除いて平年値を下回った（図21）
- アジ類は、通年平年並か平年値を下回る漁獲量であった（図22）
- マダイは、2月から4月と9月から10月と12月に平年値を上回る漁獲があった（図23）
- クロダイは、9月から12月に平年値を上回る漁獲があった（図24）
- スズキは、通年平年値を下回る漁獲量であった（図25）
- ハモは、6月から10月にかけて平年値を大きく上回る漁獲があった（図26）
- シログチは、通年平年値を下回る漁獲量であった（図27）
- カワハギ類は、2月から4月に平年値を上回る漁獲があった（図28）
- タチウオは、1月に平年値を大きく上回る漁獲があった（図29）
- マナガツオは、1月から4月に平年値を大きく上回り、10月から12月は平年値を下回った（図30）
- マダコは、通年平年並みか平年値を下回る漁獲量であった（図31）
- ジンドウイカ（ひいか）は、9月と10月を除いて平年値を下回る漁獲量であった（図32）



1日1隻当たりの漁獲量 (kg) を示す

■ 平年値    ● 平成30年    ◆ 平成29年    ▲ 平成28年



図31

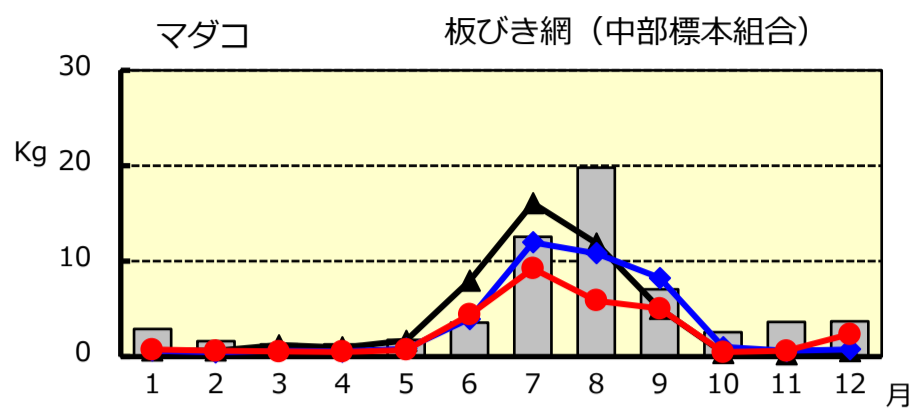
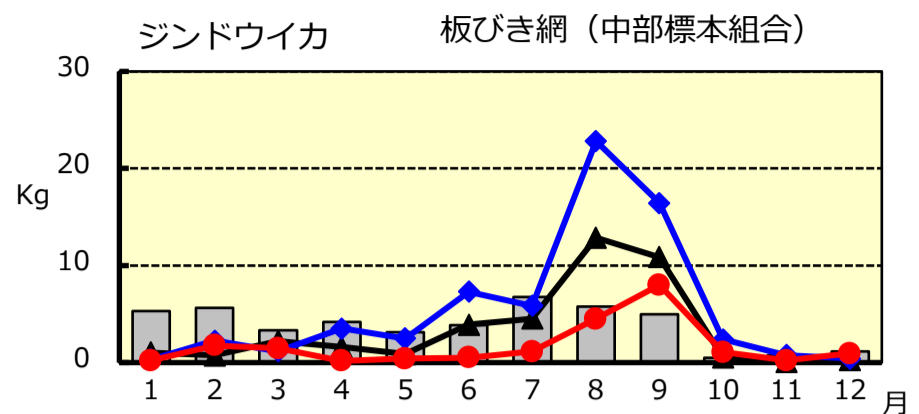


図32



板びき網（南部標本組合）

- アジ類は、2月と4月に平年値を上回ったが、それ以外の月は平年値を下回る漁獲量であった（図33）
- ヒラメは、通年平年並みか平年値を下回る漁獲量であった（図34）
- ハモは、5月から漁獲が増加し、11月まで平年値を大きく上回る漁獲があった（図35）
- マダイは、4月から5月と10月から11月に平年値を下回った（図36）
- マナガツオは、7月から8月と10月から11月を除いて平年値を大きく上回る漁獲があった（図37）
- 小エビ類は、通年平年並みか平年値を下回る漁獲量であった（図38）
- コウイカ類は、通年平年並みか平年値を下回る漁獲量であった（図39）
- マダコは、4月から7月は平年並みの漁獲量であったが、それ以外は平年値を下回った（図40）

図33

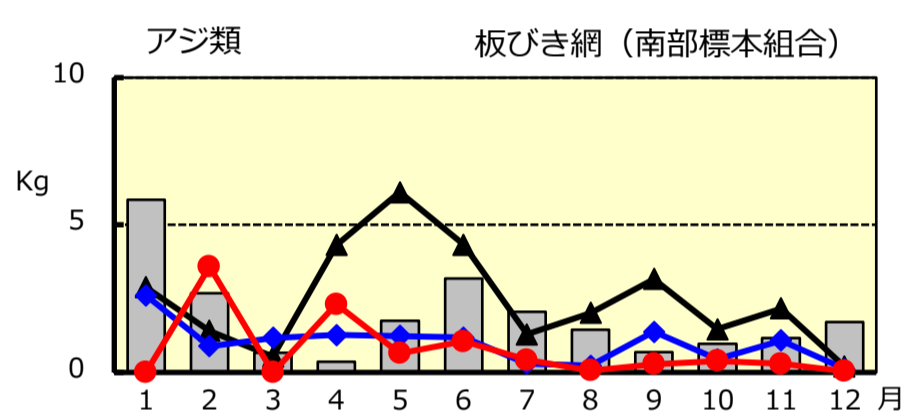


図34

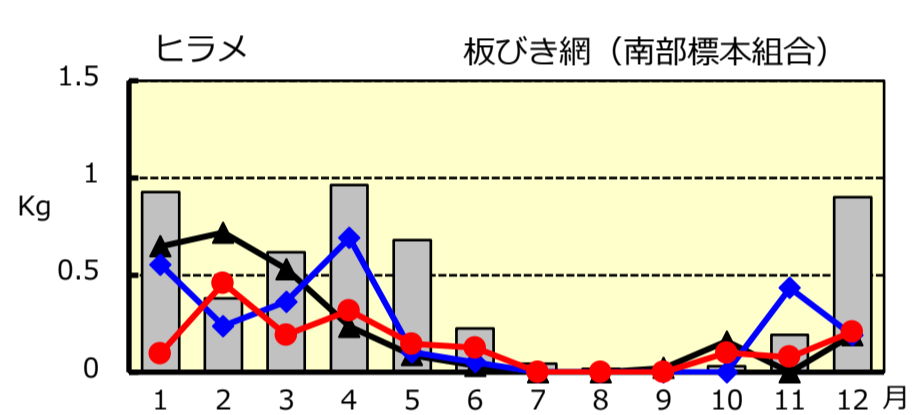


図35

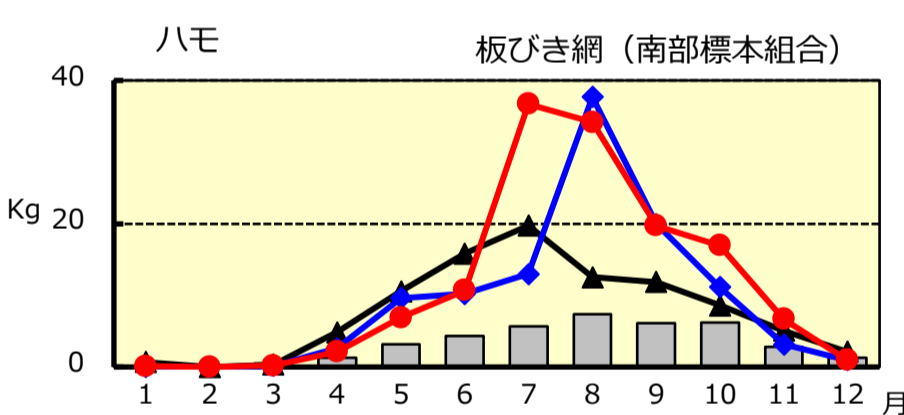


図36

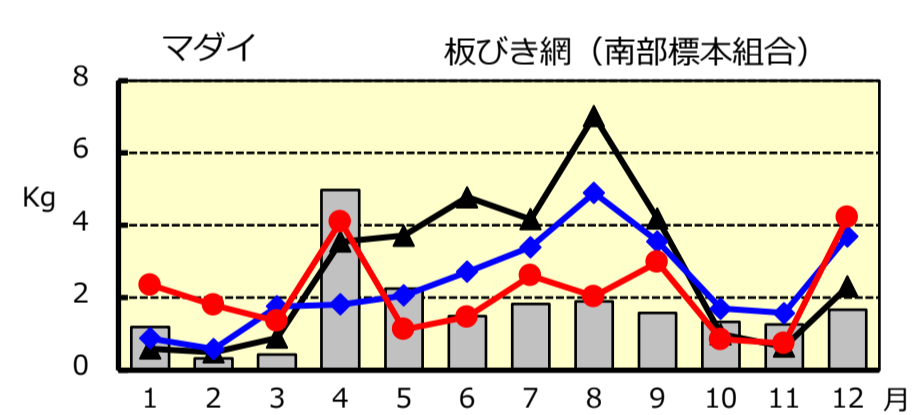


図37

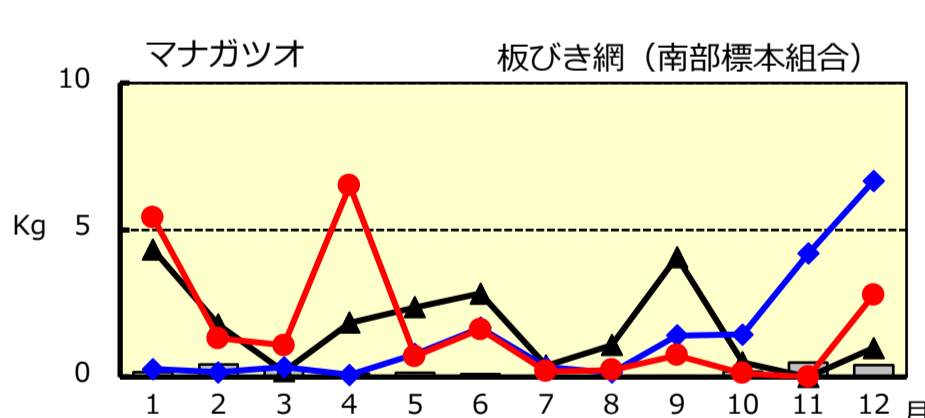


図38

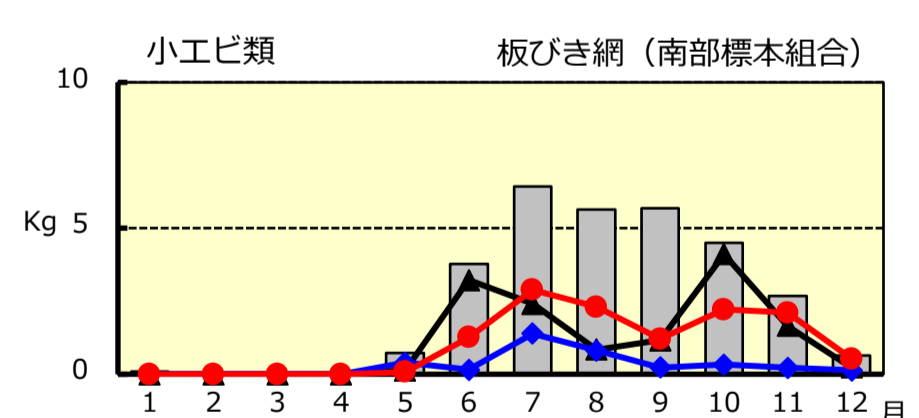


図39

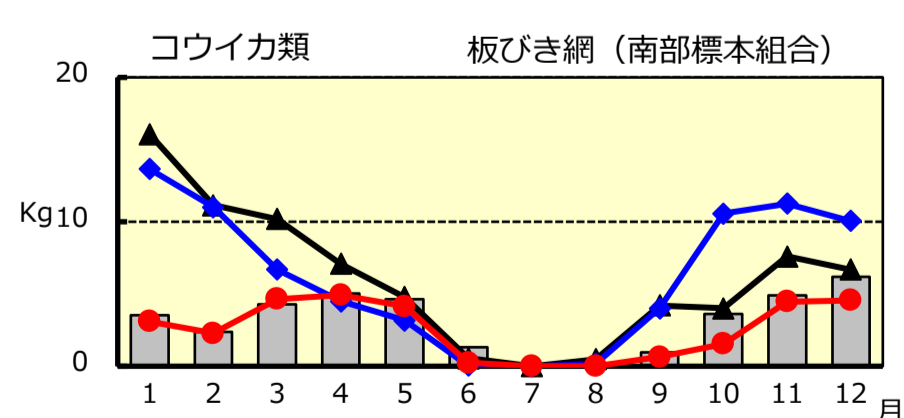
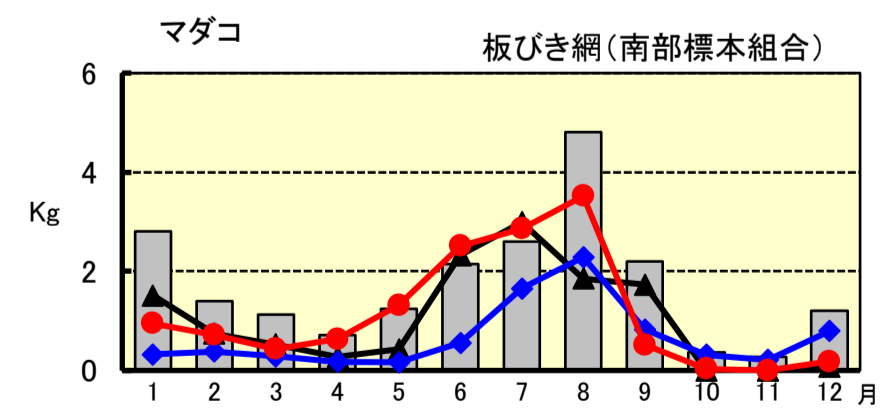


図40



1日1隻当たりの漁獲量（kg）を示す

■ 平年値    ● 平成30年    ◆ 平成29年    ▲ 平成28年